



会場風景



姉妹都市
香美市紹介コーナー

作品点数約 100 点
優しさと熱いメッセージは、子どもから大人までを魅了します



キッズスペース

感動を呼ぶやなせメルヘンワールドがお待ちしております

金津創作の森開館20周年記念 /
あわら市・香美市姉妹都市締結10周年記念



10月8日まで
(月・祝)

好評開催中

やなせたかし

—アンパンマンとメルヘンの世界—

加越窯特別体験 参加者募集



自分だけの器を作ってみませんか?

金津創作の森の創作工房では、毎年 11 月に窯焚きを行います。作品制作は 8 月から。高温で溶けた灰釉（はいゆう）が生み出す独特の表情で「自分オリジナル」を焼いてみましょう。

日時 8月26日(日)、9月16日(日) 19時～21時
制作物 花びん、一輪挿し、抹茶碗、酒器、湯呑みなど
料金 3,000円～ 制作物により異なります
申込み 前日までに電話(0776-73-7802)でお申し込みください

プロムナードコンサート YES! Junko Yamamoto 山本純子 ピアノトーク ～森のコンサート～



山本純子 福井市出身。世界各地の音楽祭から招聘される実力の持ち主。ドイツ在住。

8月19日(日)

開場 13:30 開演 14:00 終演 15:30

アートコアミュージアム-2

一般 700円 友の会会員 500円

※友の会(一般・メセナ)は当日入会可

友の会 森のアートツアー [日帰り・バスツアー] 8月18日(土) 受付開始

アートでまちめぐり 富山市のアート・文化に触れる旅。

日時 11月17日(土) 金津創作の森 9:00 発

行先 1. 富山県美術館「三沢厚彦展 ANIMALS」

2. 富山市ガラス美術館「富山ガラス大賞展 2018」

定員 43人(先着申込順)

参加費 友の会・メセナ会会員 7,000円(税込)、非会員 8,000円(税込)

旅行・企画実施 あわら観光(株)(福井県知事登録旅行業 第2種 171号)

友の会
メンバーズカード割引!

三沢厚彦《Animal 2017-01-B》
2017年 富山県美術館所蔵



金津創作の森開館 20 周年・ 香美市姉妹都市締結 10 周年記念 「やなせたかし」展始まる

◆7月14日(土) 金津創作の森



金津創作の森開館 20 周年とあわら市・高知県香美市の姉妹都市締結 10 周年を記念した「やなせたかし—アンパンマンとメルヘンの世界—」展が開幕しました。これは、香美市がやなせさんの故郷であることから、香美市の協力により、実現したものです。この日行われた開幕式は、細呂木こども園の5歳児による「アンパンマンのマーチ」の元気な合唱からスタート。香美市長をはじめとする香美市訪問団 8 人も出席し、姉妹都市の絆と開幕を祝いました。

展覧会では、絵本の原画やキャンバス画など約 100 点を展示。多くの親子連れが訪れ、子どもも大人もなじみのあるやなせたかしさんの世界を楽しんでいました。この展覧会は、10月8日(月)まで開催しています。

藤野巖九郎と魯迅の師弟愛が漫画に

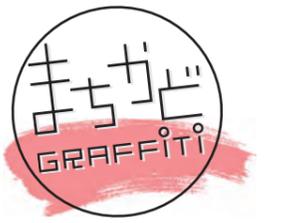
◆7月26日(木) 藤野巖九郎記念館ほか



あわら市出身の医師・藤野巖九郎と「中国近代文学の父」と呼ばれる作家・魯迅の師弟関係を、子どもたちに知ってもらい、日中友好の懸け橋につなげようと、分かりやすく表現した漫画が刊行されることになりました。これに先立ち、漫画の原作者と漫画家、刊行するポプラ社の担当者が、市内の藤野巖九郎墓所や診療所跡、藤野巖九郎記念館などを取材で訪問。記念館では、企画・監修を担当した歴史家の加来耕三さんも加わり、漫画のイメージを膨らませていました。

「学習まんが 歴史で感動!『魯迅と藤野先生～日本と中国、海を越えた師弟の絆～(仮)』は、今年 11 月に刊行予定です。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



蓮如さんかるたで白熱

◆7月8日(日) 吉崎蓮如上人記念館



「第2回 蓮如さんかるた大会」を開催しました。今回は団体戦に加えて、個人戦も初開催。どちらも「未就学児童」と「小学生1～3年」の2部門に分かれて競いました。蓮如上人の逸話に基づいた札が読まれると、子どもたちは「はい!」と元気な声で札を取り合いました。中には、事前に作戦を立てたり、練習を積んできたりした子や、負けた悔しさのあまり泣き出す子もいて、前回大会よりも激しい戦いが随所に見られ、白熱した試合が繰り広げられました。

国体に向けて北潟湖をきれいに

◆7月13日(金) 北潟



「福井しあわせ元気」国体に向けて、北潟小学校の全児童 75 人が北潟湖とその周辺の清掃活動を行いました。北潟小学校では、毎年この清掃活動を行っています。今年は国体の開催により市内外からたくさんの方が訪れるということで、「北潟にまた来たいと思ってもらえるように」と例年以上に気合の入った様子でした。5、6年生はカヌーに乗って湖面を、1～4年生は、「あわらの自然を愛する会」の人と一緒に歩きながら湖周辺を探索し、炎天下の中、一生懸命ごみを回収していました。

国体では、北潟湖で正式競技の「カヌースプリント」とデモンストラレーションスポーツの「カヌーポロ」が、北潟湖周辺では同じく「オリエンテーリング」が実施されます。